

# ポルトガル月報

2014年11月号

(本報は報道等の公開情報を当館が取りまとめたものです)

在ポルトガル日本国大使館

## 【主要ニュース】

- [内政] アナベラ・ロドリゲス内務大臣の就任 (19日)
- [内政] ソクラテス前首相の逮捕 (21日)
- [経済] 2015年度予算案の最終全体採決 (25日)

## 内政

### ●ユーロソンダージェン社による世論調査 (15日)

週刊「エスプレッソ」紙によると、ユーロソンダージェン社による世論調査 (期間11月6~11日) で、最大野党の社会党 (PS) は、前月より2.1ポイント増の36.9%であった。一方、社会民主党 (PSD) は前月より0.9ポイント減の25.3%、同党と連立を組む民衆党 (CDS/PP) も同0.3ポイント増の7.7%であった。

また、「2015年の総選挙で勝利をするのは誰か」との質問に関し、コスタ・リスボン市長 (9月28日) に行われた社会党の次期首相候補者選挙で、セグーロ書記長 (当時) に勝利と答えた人が55% (10月は54.4%) であったのに対し、パソス・コエーリョ首相と答えた人は25% (同28%) であった。

### 【政党別支持率 (%)】 (直近3か月の支持率推移)

	9月	10月	11月
社会党 (PS)	33.0	34.8	36.9
社会民主党 (PSD)	28.0	26.2	25.3
統一民主連合 (CDU) *	10.7	10.5	10.4
民衆党 (CDS/PP)	7.5	8.0	7.7
左翼連合 (BE)	4.3	4.0	3.6
自由の党 (PL) **	1.7	1.6	1.5
大地の党 (MPT) **	3.3	2.1	1.0

\*共産党 (PCP) 及び緑の党 (PEV) による政党連合。

\*\*自由の党 (PL) 及び大地の党 (MPT) は議会で議席を有していない。

### ●アナベラ・ロドリゲス内務大臣の就任 (19日)

ゴールド・ビザ汚職事件を巡る問題の責任を取って16日に辞任したミゲル・マセード内務大臣の後任として、パソス・コエーリョ首相は18日にアナベラ・ロドリゲス・コインブラ大学法学部教授を指名し、翌19日正午、カヴァコ・シルヴァ大統領が大統領府 (ベレン宮殿) で就任式を行った (内務省のアレシャンドレ副大臣及びアルメイダ副大臣は共に留任)。なお、ミゲル・マセード前内務大臣は、社会民主党 (PSD) の議員に復帰して活動を続ける。



(新内務大臣 (左) の就任式の様子: 大統領府 HP から転載)

### ●ソクラテス前首相の逮捕 (21日)

21日夜、ソクラテス前首相 (在任: 2005~2011年) は、自宅のあるパリからリスボン空港に到着した際、汚職、脱税、資金洗浄の容疑により警察に逮捕された。また、前日 (20日) には、ソクラテス前首相の友人で経営者のカルロス・サントス・シルヴァ氏、ゴンサーロ・トリンダーデ・フェレイラ弁護士、ジョアン・ペルナ元運転手ら3名も同様の容疑で逮捕された。

12月1日時点で、ソクラテス前首相は予防勾留禁とされ、引き続き身柄を拘束されている。

## ●社会党 (PS) の書記長選挙 (21～22 日)

セゲーロ前書記長の後任を選ぶPSの書記長選挙において、唯一の立候補者であったアントニオ・コスタ・リスボン市長（同党の次期首相候補者）は、全投票のうち96%（2万2700票）の支持を得て当選した。



（書記長に当選したコスタ・リスボン市長：社会党HPから転載）

## 外交

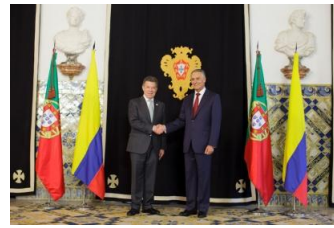
### ●ポルトラス副首相のキューバ訪問 (2～3 日)

ポルトラス副首相は、第32回ハバナ国際見本市の開会式に出席するため、キューバを訪問した（カンポス・フェレイラ外務協力担当副大臣、ヴィエイラ・エ・ブリット食糧・農業食品研究担当副大臣、ポルトガル企業関係者30名余り同行）。ポルトガルの政府関係者が同見本市に出席するのは初めてであり、同行した建築、テクノロジー、ホテル業等の企業関係者も出席した。また、ポルトラス副首相は、ディアスカネル国家評議会第一副議長と会談を行い、両国間関係の良好な進展を確認し合うと共に、貿易及び投資を活発させる共通の関心を示した。

### ●サントス・コロンビア大統領のポルトガル訪問 (6 日)

カヴァコ・シルヴァ大統領は、ポルトガルを訪問したサントス・コロンビア大統領と会談を行った。会談後の共同記者会見で、カヴァコ・シルヴァ大統領は、「まさしく本日、欧州連合 (EU) とコロンビア、ペル一間の自由貿易協定を公布した。ポルトガルにとり、コロンビアは南米の中で最重要国の一つである。両国は政治・外交、経済、貿易、投資、保健、文化、安全保障、防衛等の分野で広範な協力関係を拡大してきた」と述べた。一方、サントス大統領は、「欧州との自由貿易協定の公布に感謝したい。また、コロンビアは二重課税防止協定の全ての手続きが終わったことをお伝え

したい」と述べた。会談後、カヴァコ・シルヴァ大統領は、サントス大統領を大統領府の昼食会に招待し、ポルトガル側から、パッソス・コエリョ首相及びポルトラス副首相も昼食会に出席した。



（カヴァコ・シルヴァ大統領（右）：大統領府HPから転載）

### ●カヴァコ・シルヴァ大統領のア首連訪問 (26～27 日)

カヴァコ・シルヴァ大統領は、ポルトガルの国家元首として初めてア首連を訪問し、ムハンマド・アブダビ首長国皇太子及びムハンマド副大統領兼首相（ドバイ首長）と会談を行ったほか、両国の企業家らが集まるセミナーに出席した（ポルトラス副首相、アギアール・ブランコ国防大臣（ドバイのみ）、セザリオ・ポルトガル人コミュニティ担当外務副大臣、フラスキーリョ・ポルトガル投資貿易振興庁 (AICEP) 長官ら同行）。同大統領は同行記者に対し、「今次訪問は政治的のみならず、経済的にも相当な意味合いがある」と述べ、ムハンマド皇太子との会談後にも、「将来的な両国間の協力関係について幅広い意見交換が行われた」と明らかにした。また、企業家セミナーにおいては、ポルトガルでは労働市場改革が進捗し、税制改革も実行されている点を強調しつつ、「対ポルトガル輸出及び投資について扉は開かれている」と述べると共に、ア首連の企業家たちにポルトガルを訪問するよう招待した。



（企業家セミナーの様子：大統領府HPから転載）

## 経済

### ●トロイカ監査団による訪問の終了（5日）

トロイカ支援終了後（5月）初めてとなる監査団の訪問（注：2011年5月から2014年5月までの支援期間中、トロイカ関係者は四半期ごとに当地を訪問し財政再建状況を審査していたが、今後は融資の返済の大部分が終わるまで半年ごとに訪問し、政府側と意見交換を行う）が10月28日から11月4日まで行われ、5日、トロイカ側及び政府側から各々声明が発出された。トロイカ側は、ポルトガルの経済・金融情勢は概ね改善したと指摘しながらも、高水準の債務等により経済回復は抑制されており、競争力も依然不十分であると警告した。また、支援終了後は構造改革の速度が大幅に低下しており、将来を見据えた野心的な改革アジェンダを維持するよう強く求めた。これを受けて、政府は、トロイカとの協議において、国内経済の進展及び将来の見通しについての分析、2015年度予算案に盛り込まれた財政再建策、最近の予算執行状況について説明を行ったほか、エネルギー市場や労働市場等に関わる構造改革の進捗状況について話し合われたと発表した。そして、トロイカによって指摘された財政の見通しに関するリスクに留意しつつも、来年に過剰財政赤字の状況を脱するという堅い約束を改めて表明した。

### ●第3四半期の雇用統計（5日）

国立統計院（INE）は、第3四半期の雇用統計について、失業率13.1%（前期比0.8ポイント減；前年同期比2.4ポイント減）、失業者数68万8900人（そのうち、12か月以上の長期失業者は46万900人）と発表した。また、若年層（15-24歳）の失業率は32.2%（前期比3.4ポイント減；前年同期比4.2ポイント減）であった。

失業関連データの推移は以下のとおり。

	2013/Q3	2014/Q2	2014/Q3
失業者数	819.9	728.9	688.9
若年層	148.3	129.3	129.2
長期	52.90	491.3	460.9
失業率（%）	15.5	13.9	13.1

若年層	36.4	35.6	32.2
長期	10.0	9.4	8.8

（注）失業者数の単位（千人）、若年層は15～24歳、長期は12か月以上。

### ●公的保険料引上げに関する憲法裁判所の合憲判断（5日）

憲法裁判所は、野党（共産党（PCP）、左翼連合（BE）、緑の党（PEV））から請求されていた公的保険料引上げ（控除率2.5%から3.5%）の合憲性審査に関し、制度の持続可能性及び同制度への加入は任意であること等が考慮され、合憲との判断を下した。当地報道によれば、同引上げによる税収増は約1億3000万ユーロと見られている。

### ●9月の貿易収支（財）（10日）

国立統計院（INE）は、9月の貿易収支（財）を発表し、輸出40億7500万ユーロ（前年同月比3.7%増）、輸入51億5100万ユーロ（同5.6%増）であった。また、直近3か月（7～9月）については、輸出117億9850万ユーロ（前年同期比1.5%増）、輸入146億9120万ユーロ（同2.5%増）で、貿易収支▲28億9260万ユーロとなっている。直近3か月間における輸出入の主な品目別伸び率（前年同月比）は、以下のとおり。

輸出品目別：消費財（+8.0%）、燃料・潤滑剤（-11.3%）  
 輸入品目別：輸送機器関連品（+23.1%）、燃料・潤滑剤（-11.3%）

[直近3か月の貿易収支推移]

	7月	8月	9月	合計
輸出額	4479	3245	4075	11798.5
前年同月比（%）	2.3	▲2.2	3.7	1.5
輸入額	5402	4139	5151	14691.2
前年同月比（%）	3.5	▲2.3	5.6	2.5
貿易収支	▲923	▲894	▲1076	▲2892.6

（注）輸出入及び貿易収支額の単位は百万ユーロ。

### ●10年物長期国債の入札(12日)

ポルトガル国庫公債管理庁(IGCP)は、10年物長期国債(2024年2月償還)の入札を実施し、発行予定額(7.5~10億ユーロ)の上限を超える12億ユーロ(落札平均利回り3.176%)を調達した。

### ●第3四半期のGDP成長率(速報値)(14日)

国立統計院(INE)は、第3四半期のGDP成長率(速報値)について、前期比0.2%、前年同期比1.0%増であったと発表した。

### ●短期国債の入札(19日)

ポルトガル国庫公債管理庁(IGCP)は、3か月物及び12か月物国債の入札を実施し、発行予定額(合わせて7.5~10億ユーロ)の上限10億ユーロを調達した。3か月物の落札額は2億ユーロ、落札平均利回りは0.156%(前回10月15日は0.11%)、応札倍率は3.3倍(同3.7倍)であった。また、12か月物の落札額は8億ユーロ、落札平均利回りは0.320%(同9月17日は0.225%)、応札倍率は1.6倍(同1.9倍)であった。

### ●2015年度予算案の最終全体採決(25日)

2015年度予算案は、共和国議会本会議における審議を経て、最終の全体採決が行われた結果、連立与党の賛成多数により可決された。一方、最大野党・社会党(PS)を含む全野党が反対票を投じたほか、与党の社会民主党(PSD)からマデイラ選挙区選出の議員4名も反対票を投じ、民衆党(CDS/PP)の議員1名が棄権した。

### ●1~10月の予算執行状況(財政赤字)(25日)

財務省は本年1~10月の財政赤字について、59億5910万ユーロ(前年同期より18億4160万ユーロ減)と発表した。

### ●長期国債の借換え(26日)

ポルトガル国庫公債管理庁(IGCP)は、2015年及び2016年に償還満期を迎える長期国債について、2021年及び2013年を新たな償還期限とする借換えを行った。詳細は以下のとおり。

借換え前		
旧償還期限	交換額	平均利回り
2015年10月	2億4000万ユーロ	0.226%
2016年2月	5億5300万ユーロ	0.480%
2016年10月	9億5500万ユーロ	0.527%
借換え後		
新償還期限	発行額	平均利回り
2021年4月	9億4300万ユーロ	2.163%
2023年10月	8億0520万ユーロ	2.838%

### ●10月の雇用統計(27日)

国立統計院(INE)は、10月の雇用統計における失業率について、20か月ぶりに上昇に転じ、前月比で0.1ポイント悪化の13.4%(速報値、季節調整済)と発表した。

	前年10月	本年9月	本年10月
失業者数	81.01	68.53	68.83
(若年層)	(14.35)	(12.64)	(12.62)
失業率	15.6%	13.3%	13.4%
(若年層)	(37.1%)	(33.0%)	(33.3%)

※失業者数の単位は万人。

## 社会・その他

### ●レジオネラ菌感染の広がり

11月初旬からリスボン北東のヴィラ・フランカ・デ・シーラ市などでレジオネラ菌感染が広がり、死者8~9名、感染患者300名以上の事態となった。

21日になって、パウロ・マセード保健大臣は終息宣言をしつつ、同市の肥料会社の冷却施設で発見された菌が患者から検出された菌と同一であったと述べた。

### ●米誌「Wine Spectator 2014」(15日)

当地各紙によると、米紙「Wine Spectator 2014」において、ポルトガルの「Dow's Vintage Port 2011」(ポートワイン)が第1位に選ばれた。また、3位に「Prats & Symington Douro Chryseia 2011」、4位に「Quinta Do Vale Meão Douro 2011」(共にドウロ)が入った。

### ●欧州で活躍するポルトガル人サッカー選手(21日)

ディアリオ・デ・ノティシアス紙によると、国際サッカー連盟(FIFA)が協力する国際スポーツ研究セン

ターの調査で、2009～2014年の5年間において、欧州サッカー5大リーグ（英国、イタリア、ドイツ、スペイン、フランス）に所属するポルトガル人選手が30人から38人に増加した。国籍別では、フランス（113人）、アルゼンチン及びブラジル（112人）、スペイン（58人）等となっている。

**●アレンテージョ地方の民謡がユネスコ無形文化遺産に登録（27日）**

ユネスコはパリの本部における政府間委員会において、「カンテ・アレンテジャーノ」（ポルトガル・アレンテージョ地方の多声歌唱）を無形文化遺産に登録することを決定した。